



学会ホームページ <http://jasce.jp>

049号(2019年3月31日)

目次

- 国際協同教育学会 2019 台北大会報告
- 杉江会長の基調講演と生涯業績賞の受賞
- 『協同と教育』への投稿募集中
- 会員情報の変更届け
- 会費の納入のお願い
- 学会ワークショップ
- 開催報告
- 今後の予定(判明分)
- 各地の研究会・勉強会

国際協同教育学会 2019台北大会報告

台北でのIASCE国際大会(3月22日~24日、前日21日プレ大会)が開催されました。

23ヵ国から総勢200名を超える参加者が集い、日常の授業実践から教員養成や学校改革まではば広いテーマで研究報告がなされました。IASCEの大会は発表者と聴衆の相互交流が重視されます。開会式ではバースデイソングのメロディに合わせて、ニーハオ(こんにちは)、シェイシェイ(ありがとう)、ハオバン(素晴らしい)という3つの中国語の練習を参加者全員で行いました。冒頭からのウォーミングアップで、すぐにアットホームな雰



囲気が生まれ、3日間の大会を通じて和気あいあいとしたセッションが続きました。発表や講演の詳しい内容は後日、IASCEのHPにリンクされる予定です。

日本協同教育学会から10名の理事が参加し、学会経由の日本からの発表は17件あり、それらの発表者を13名の発表支援ボランティアがサポートしました。英語で発表するなんて考えたこともない、という小学校の先生が周囲の応援を受けて立派なプレゼンをする姿に、本当に協同教育学会っていいな、という感嘆の声が多数聞かれました。



杉江会長の基調講演と 生涯業績賞の受賞

杉江先生(本会会長・中京大学教授)の基調講演は、Evolution and Current State of Cooperative Learning in Japanと題して、22日15時30分から行われました。杉江先生は、なぜ協同が必要なのか、日本において独自の長い歴史を有する協同学習の理論と実践はどのようなものであるかを、分かりやすい口調で聴衆に語りかけ、日本協同教育学会がどんな組織で協同学習の研究と実践をどのように展開しているかについても紹介されました。

さらに、杉江先生はこの大会で

The IASCE Lifetime Achievement Award(生涯業績賞)を受賞されました。授賞式は23日17時20分から開催されました。生涯業績賞は協同学習の研究・普及に大きな功績を残した方に贈られる特別な賞です。過去にデービッド・ジョンソン、ロジャー・ジョンソン、モートン・ドイッチなど世界的権威が受賞しています。



『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿を随時受け付けています。論文の投稿に締め切りはありません。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月を要します。これまでのところ、12月末までに査読が終了し掲載が決定した論文は3月に刊行予定の「協同と教育」に掲載されております。

編集委員会では学会機関誌『協同と教育』第15号(2020年3月発行予定)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

JASCE

会員情報の変更届け

年度がわりの異動や転居などともなっていて、所属・住所・メールアドレス等の変更があった場合、すみやかに会員情報変更をお願いします。届け出は学会ホームページの「会員情報変更フォーム」から随時可能です。

(<https://www.jasce.jp/php/1044form.php>)

会費の納入のお願い

本年度の会費4,000円を納入していない会員の方は、早急の納入をお願いいたします。次の口座にお振込み下さい。3年度を超えて会費が未納となった場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。

◇銀行振込の場合

金融機関名 ゆうちょ銀行

支店 ○一九

口座番号 (当座)0315442

名義 日本協同教育学会

◇郵便局で「振込取扱票」を

お使いの場合

口座記号・番号 00100-8-315442

加入者名 日本協同教育学会

学会ワークショップ開催報告

<ベーシック>

2019年3月9日(土)～10日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)

教職大学院棟 V409教室

講師:太田昌宏

当日は多様な背景をもつ参加者(14名)が集まりました。開始前の緊張は、参加者どうしの自己紹介とともに解け、教室はオープンな雰囲気であつた。ベーシック講座のリーダーの方に「なぜ再び参加したのですか?」と聞いたところ「基本が大事

だと思ったので」というお返事。「そう!協同学習は基本が大事なんです!」と私も返しました。講座の中では、「互恵的な協力関係とは何か。どうしたら育めるのか?」が中心的な話題となりました。そして、今回、特徴的だったのは、「そもそも論」に関する対話に参加者どうしで深まったことです。「そもそも学校って何?」「授業って何?」「参加したくない、も多様なのか?」「フリーライダーはどこまで許容されるか?」「成長したい、と必ずしも思わない子どももい

るのでは?」等です。こうした「答えのない」問いを多様な観点から一緒に考えられた2日間は本当に充実していました。ありがとうございました。

(太田昌宏)

<アドバンス>

2019年3月9日(土)～10日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)

教職大学院棟 V309教室

講師:伏野久美子

3月9日、10日の2日間にわたり、創

学会ワークショップ 今後の予定(判明分)

<ベーシック>

6月15日(土)～6月16日(日)【主催】

会場:犬山市国際観光センターフロ
イデア(愛知県犬山市)2F研修室2

講師:水谷茂

8月17日(土)～8月18日(日)【主催】

会場:比治山大学(広島市)6号館
06203教室

講師:安永悟・須藤文

8月24日(土)～25日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)D棟

講師:石田裕久・和田珠実

8月31日(土)～9月1日(日)【主催】

会場:学校法人湘央学園浦添看護
学校(沖縄県浦添市)1階第二会議
室

講師:安永悟・須藤文

<アドバンス>

11月9日(土)～10日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)D棟

講師:石田裕久・長濱文与

<1日研修>

2019年8月25日(日)【公認】

会場:中京大学名古屋学舎(名古屋
市)5号館522教室

講師:水谷茂

定員になり次第、受付を終了します。申込み方法、ならびにワークショップの詳細は下記URLをご覧ください。(<https://jasce.jp/1031workshop.php>)

JASCE

備大学におきましてアドバンスワークショップを開催いたしました。8名の方が全国からご参加くださり、少人数ではありましたがとても充実したワークショップになりました。なんといいても、

協同教育の本質に迫っていくのがアドバンスワークショップの醍醐味です。真の協同学習とは何かに関して活発なディスカッションも繰り広げられ、時には時間を忘れそうになってしまうことも

ありました。ご参加くださった皆様、本当にお疲れ様でございました。現場で実践を続けられ、たくさんの質問を持って、またワークショップにご参加ください。(伏野久美子)

各地の研究会・勉強会

(北海道地域)

協同で学ぶ授業・学級・学校づくり学習会

第2回学習会

◇2日9月(土曜日)13時~16時30分、57名の参加者を含み第2回目の「協同でつくる学校、学級、授業づくり学習会」を北海道空知管内南幌小学校にて開催しました。当日はホワイトアウトに近い悪天候となりましたが、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の管理職や一般教員、保護者さらには北海道教育委員会の指導主事3名が参加しました。参加者の希望により、教職員の協同による関わりが難しい児童、生徒の対応と題し、対応に苦慮する発達障害及びその傾向みられる児童、生徒の適切な関わりを教職員及び保護者の協同によりどう進めるかの具体策についての学習を行いました。講師は私石垣が務めました。参加された皆さんは、教育活動に意欲を持たれている方々であり、充実した学習内容とすることができました。

終了後は18名の参加で懇親交流会を開催し、有意義な時間を過ごすことができました。

第3回学習会報告

◇3日2月(土曜日)13時~16時30分、38名の参加者を含み第3回の学習会を前回に引き続き北海道空知管内南幌小学校にて開催しました。当日は公私立学校の卒業式や年度末会議さらに高等学校の入試直前でありながらも、小、中、高等学校の管理職や教職員や空知教育局の指導主事、保護者さらには新年度新規教職員採用に内定している学生が参加しました。研修テーマは参加者のアンケートの希望により「協同でつくる主体的、対話的で深い学び」で、講師は私石垣が務めました。参加された皆さんは自身の授業づくりのみならず、自校の教育改善を進める意識の高い方々で、4時間30分の長時間の研修会でありましたが、グループワークを含め真剣に研修に取り組んでいました。終了後、

15名の参加で懇親交流会を開催し、充実した時間を過ごすことができました。

◇次回4回目は、参加者の要望により5月を予定し、「教職員、保護者との協同づくり」をテーマに開催します。

連絡先:石垣則昭

(北海道医療大学心理科学部

ishigaki7634@dream.bbexcite.jp)

(東北地域)

宮城協同教育を学ぶ会

◇2019年度は「協同で学ぶ授業づくり」をテーマに地区の活動を進めていきます。第1回目の研修は6月29日(土)です。小学校外国語の提案授業から協同的な学び合いについて考えます。講師には宮城学院女子大学の木村春美先生においていただき、参加者同士で授業づくりについて考えを深め、日々の実践につながる研修を行います。現在、たくさんの方に参加していただけるよう準備を進めているところです。詳細について、また、2回目以降の研修については後日お知らせいたしますのでお楽しみにお待ちください。

連絡先:熊谷みち

(宮城協同教育を学ぶ会 事務局

mm.kumagai@gmail.com)



JASCE

(名古屋・東海地域)

Learning Design Community

(静岡県)

◇第15回研修会を2月22日(金)18時30分～21時、三島駅北口の株式会社ネットマンの中にあるカフェスペース「三島できたことカフェ」にて開催しました。参加者は15人。今回の研修内容は、TP (TeachingPortfolio)。講師は木村 剛さん。研修のふり返りにデジタル機器を活用してみました。C-Learningというネットマンさんのシステムを体験しました。

事務局:鈴木映司

(静岡県立韮山高等学校)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇3月29日(金)は、防衛医科大学校医学教育部看護学科小児看護学講座の菊原美緒先生より、授業実践報告「看図アプローチを活用した看護教育の主體的な学習の動機づけ」についてご発表いただきました。参加者は鹿内信善先生、石田ゆき先生が作成された看図の写真や図をもとに「変換」「要素関連づけ」「外挿」を体験しながら「もの」と「こと」を見る大切さを学びあうことができました。看護においては「見れども見えず」から脱却し優れた看護実践能力を修得することが、命を護る安全で安楽な看護の提供に不可欠です。そのためには、専門的知識や多角的思考を伴った「みる」「みれる」能力を高めるトレーニングが重要です。今回の参加者の約半数は、すでに鹿内信善先生の看図アプローチ研修を受講しておりましたが、菊原先生の具体的な授業実践報告の拝聴と体験を通し、看護教育における「看図アプローチ」の意義について、

あらためて理解を深めることができました。

今回の参加者は29名で、東海、中部、関西に加え沖縄からは看護学校の校長先生2名(知念先生・並里先生)が参加されましたので、終了後は懇親会も開催しました。今後、沖縄県でも看護教育の研究会がスタートする予定です。2019年度の開催は、以下のように予定しております。是非、ご参加ください。

◇今後の開催予定

場所:グランフロント大阪北館2階 ナレッジキャピタル The Lab アクティブスタジオ

時間:19時～21時、日程:5月24日、7月19日、9月27日、11月29日、2020年1月24日、3月13日

参加申込先:緒方巧(梅花女子大学 t-ogata@baika.ac.jp)



(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇3月2日(土)14時から岡山大学教師教育開発センター東山ランチで今年度第4回の協同学習研究会を開催しました。今回は日本協同教育

学会会長の杉江修治先生(中京大学教授)をお迎えしました。いわゆる講演ではなく、授業改善で課題に感じていることを参加者がA4用紙1枚程度に書き出した「宿題」をもとに小グループでの協議を繰り返した後、全体で共有しました。

◇今後の開催予定

場所:岡山大学教師教育開発センター東山ランチ

日程:7月13日、8月31日、11月30日、2020年2月29日

連絡先:高旗浩志

(岡山大学教師教育開発センター takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇2月2日(土)13時～17時、第46回研究会を久留米大学御井キャンパス学生会館ミーティングルーム3で開催しました。内容は、岸本徹也先生(流通科学大学)「大学生主体の高大連携教育」、佐藤正二先生(宮崎大学名誉教授)「SSTを中心としたメンタルヘルス教育」等でした。次回は5月18日(土)に開催します。プログラム等の詳細は、協同教育研究所「結風」HPを御覧ください。

◇年間スケジュール

授業づくり研究会:2019年5月18日(土)、10月12日(土)、12月7日(土)。協同学習フェスタ:2019年7月20日(土)。

参加のお申込みは、協同教育研究所「結風」(<http://yuikaji.me/wiki.cgi>)からお願いします。当日参加も可能です。

連絡先:安永悟

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)